



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 郷 芳夫 TEL 0258-92-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	17,447	2.8	362	△23.9	1,689	△8.0	1,301	△17.6
28年3月期第3四半期	16,974	1.4	476	△2.2	1,836	△35.9	1,580	△12.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △2,311百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 △14,633百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	229.98	—
28年3月期第3四半期	276.98	—

(注) 当社は第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	64,405	47,153	73.2	8,414.50
28年3月期	69,074	49,920	72.3	8,747.58

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 47,153百万円 28年3月期 49,920百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	2.8	500	27.8	1,800	6.9	1,250	324.4	219.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	5,995,000株	28年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	368,263株	28年3月期	288,215株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	5,660,816株	28年3月期3Q	5,706,832株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善により穏やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性等により引き続き厳しい経済環境が続いております。また、当グループの主力販売先である国内小売業は、生活防衛・節約志向の高まりによる個人消費の伸び悩み等により、厳しい販売競争に直面しております。

このような状況下、創業70周年・新たな成長への挑戦として策定した中期経営計画「岩塚Stage-Up70」の課題の一つひとつ達成することが業績向上につながるものと捉え、初年度をスタートいたしました。

営業部門では、国産米にこだわり主力商品の拡販に注力することで岩塚ブランドの認知度の向上を目指し、その一環として、新米のもち米が収穫できるこの時期に期間限定で田舎のおかきシリーズ、大袖振豆もちシリーズの6品に新米を100%使用することで「旬」を強く訴求するなど、差別化による販売促進策の強化が売上増加に寄与いたしました。

また、岩塚のお子様せんべいが発売50周年を迎えるにあたり、岩塚のベビーせんべいシリーズの「岩塚のお子様せんべい」「がんばれ！野菜家族」「がんばれ！小魚家族」の3品について、子ども達に大人気のアニメ「はなかつぱ」をパッケージに使用し、大変ご好評をいただいております。

製造部門におきましては、引き続き生産効率の向上を図り原価低減に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は174億47百万円（前年同四半期比2.8%増）となりましたが、利益面におきましては、キャンペーン費用他、販売費が増加したこと等により営業利益は3億62百万円（前年同四半期比23.9%減）、経常利益は16億89百万円（前年同四半期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億1百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

また、経常利益におきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited.からの株式配当金11億63百万円を営業外収益の受取配当金に計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は644億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億68百万円の減少となりました。

流動資産は62億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億54百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が3億55百万円減少した一方で、売上債権が6億50百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は581億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して49億23百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により51億85百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、172億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億1百万円の減少となりました。

流動負債は、32億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億64百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が2億76百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は139億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億36百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い繰延税金負債が15億71百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、471億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億67百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が11億99百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が36億19百万円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）の役員報酬と株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めることを目的に、役員に対する新たな株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」を第2四半期連結会計期間より導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）に準じて会計処理を行っております。

①取引の概要

当社は役員に対し、役位及び会社の業績に応じて一定のポイントを付与し、役員退任時等に累計ポイントに応じた当社株式及び金銭を給付します。役員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

②信託に残存する自社の株式

当第3四半期連結累計期間における役員株式給付信託（BBT）の導入に伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社から当社株式22,900株を取得しております。

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額は79,703千円、株式数は22,900株であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	822,485	467,210
受取手形及び売掛金	3,845,400	4,496,120
有価証券	82,329	—
商品及び製品	164,370	174,233
仕掛品	106,075	83,604
原材料及び貯蔵品	567,280	702,042
その他	464,818	384,381
貸倒引当金	△99,589	△100,082
流動資産合計	5,953,170	6,207,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,075,904	4,076,260
その他(純額)	3,270,991	3,516,218
有形固定資産合計	7,346,896	7,592,478
無形固定資産		
	130,569	146,959
投資その他の資産		
投資有価証券	54,194,763	49,009,097
その他	1,483,681	1,484,476
貸倒引当金	△34,786	△34,936
投資その他の資産合計	55,643,658	50,458,638
固定資産合計	63,121,124	58,198,075
資産合計	69,074,295	64,405,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	816,441	791,544
短期借入金	450,000	550,000
未払法人税等	444,775	168,596
賞与引当金	410,760	129,921
その他	1,524,711	1,641,757
流動負債合計	3,646,689	3,281,820
固定負債		
退職給付に係る負債	1,065,995	1,084,192
繰延税金負債	14,030,851	12,459,408
その他	410,190	426,687
固定負債合計	15,507,038	13,970,287
負債合計	19,153,727	17,252,108

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	10,415,711	11,614,838
自己株式	△712,728	△1,065,829
株主資本合計	13,196,983	14,043,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,827,659	33,207,984
退職給付に係る調整累計額	△104,075	△97,515
その他の包括利益累計額合計	36,723,583	33,110,469
純資産合計	49,920,567	47,153,478
負債純資産合計	69,074,295	64,405,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,974,763	17,447,046
売上原価	10,480,778	10,757,002
売上総利益	6,493,984	6,690,043
販売費及び一般管理費	6,017,345	6,327,233
営業利益	476,639	362,810
営業外収益		
受取利息	39,004	30,978
受取配当金	1,358,040	1,190,040
その他	104,761	114,753
営業外収益合計	1,501,806	1,335,772
営業外費用		
支払利息	4,416	1,496
持分法による投資損失	7,254	—
貸倒引当金繰入額	105,850	150
その他	24,827	7,600
営業外費用合計	142,348	9,247
経常利益	1,836,097	1,689,335
特別利益		
固定資産売却益	—	14
投資有価証券売却益	694,702	47,659
受取保険金	—	97,252
特別利益合計	694,702	144,926
特別損失		
固定資産除却損	93,354	9,876
投資有価証券評価損	—	493
その他	3,216	—
特別損失合計	96,570	10,370
税金等調整前四半期純利益	2,434,229	1,823,891
法人税、住民税及び事業税	726,343	408,642
法人税等調整額	127,231	113,401
法人税等合計	853,574	522,043
四半期純利益	1,580,654	1,301,848
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,580,654	1,301,848

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,580,654	1,301,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,222,336	△3,619,674
退職給付に係る調整額	8,652	6,559
その他の包括利益合計	△16,213,683	△3,613,114
四半期包括利益	△14,633,028	△2,311,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,633,028	△2,311,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。